

志木ロータリークラブ

創立50周年 50th ANNIVERSARY



SERVE TO CHANGE LIVES

2021-22年度 国際ロータリー 会長 シェカール・メータ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
 2021-22年度 第2570地区 ガバナー 水村雅啓 「もっと夢をもっと奉仕を」
 2021-22年度 志木ロータリークラブ 会長 清水和之 「歴史を紡ぎ 未来へ繋ぐ」

特別号

2022-2-23

志木RC創立50周年記念「まちあわせ河童」像寄贈除幕式

2022年2月23日 於・マルイ志木店前広場



志木ロータリークラブ創立50周年「まちあわせ河童」贈呈式・除幕式に寄せて

志木ロータリークラブ会長 清水和之



志木ロータリークラブは、1972年(昭和47年)に創立以来、昭和・平成・令和へと歴史と伝統を紡ぎながら、本年50周年・半世紀に及ぶ大きな記念すべき節目の年度を迎えまし



た。そして、令和4年2月23日、志木ロータリークラブ創立50周年記念事業として、可愛らしく右手を上げたカッパ像「まちあわせ河童」の贈呈式・除幕式を、香川武文志木市長の立ち会いの下、駅前広場にて挙行致しましたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から誠に残念ながら志木ロータリークラブ・志木市市役所関係者・代表者に絞っての開催と致しました。

50周年記念実行委員会の尾崎委員長を初め委員会の皆様、カッパ像の制作者で有ります内田会員には、改めて感謝と御礼を申し上げます。

さて、当日2月23日は期せずして、ロータリーの創始者・ポール・ハリスが、友人3人

と最初に会合を持ったロータリークラブ誕生の日に当たります。

正に万感交際の思いで御座います。

そして、翌日の読売新聞・市民新報の紙面には「志木ロータリークラブによるカッパ像は志木駅東口だけで6体目」志木市に寄贈と報じられ、志木の新たな魅力発信、50周年記念の足跡としての記録更に公共イメージの向上にも成ったものと、うれしく存じる次第です。

この「まちあわせ河童」は志木駅玄関口で行き交う方々へ向け、「いってらっしゃい」、「おかえりなさい」とまるで呼び掛けているようで、志木の河童についての話題づくりにも成り、更にコロナ禍で希薄になりがちな人と人とのつながりにも貢献出来るものと願う次第で御座います。

そして、本年度掲げたテーマ「歴史を紡ぎ未来へ繋ぐ」を会員の皆様と共に共有し、志木ロータリークラブの歴史と伝統の下、更なる60周年に向けての新たな歴史を刻んで参りましょう。

「志木市長メッセージ」 志木市長 香川武文様



志木ロータリークラブ創立50周年記念として、温もり溢れる「まちあわせ河童」をご寄贈いただき、誠にありがとうございます。志木市の玄関口に新たな魅力が創出されたこと、大変嬉しく思っております。

志木ロータリークラブ創立50周年の年に、

志木市も大きく生まれ変わります。本年7月にはいよいよ新庁舎が完成し、いろは親水公園もリニューアルオープンします。また、志木駅東口からいろは親水公園まで続く本町通り沿いの活性化に向けて、「志木市中心市街地活性化基本計画」を策定するとともに、中央通停車場線の拡幅も目に見える形で整備が進んでいきます。

志木駅東口を行き交う皆さんを見守り、未来へと進む志木市の発展を見守る、ロータリアンの熱い想いが込められた「まちあわせ河童」の目に、しっかりと志木市の活気を刻んでいきますので、引き続き、まちづくりの強固なパートナーである志木ロータリークラブのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

「ご挨拶」

創立50周年記念実行委員会 委員長 尾崎征男



本日、ここ志木市の表玄関、志木駅前広場に志木ロータリークラブ創立50周年記念碑として「まちあわせ河童」と命名し、多くの市民、あるいは志木を訪れる多くのお客様の目印として、更には、これから変わり行く、志木市の発展を見つめ、人の出入りと安全を守り、数多くの行き交う人達をカッパは微笑みを浮かべながらお出迎えする事でしょう。ロータリアンとして限りない喜びと言えるものです。ここにカッパの町、志木のシンボルとしてご活用して下されば幸いです。

◇特別号-2
志木 RC 会報

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！ 第2グループ各RC 例会日・会場一覧(順不同)
■朝霞RC (火) 12:30～ 埼玉りそな銀行朝霞支店
■朝霞キャロットRC (月) 19:00～ スマイルホテル 3階ホール

志木ロータリークラブ創立 50 周年記念の経緯とカップ像設置の意義

志木 RC は、今から 50 年前、昭和 47 年(1972)2 月、朝霞 RC をスポンサーに県内 41 番目のクラブとして国際的な社会奉仕団体として誕生したのが志木 RC です。

昭和 47 年、創立当時の日本は戦後復興と首都圏周辺の人口急増により新河岸川の環境は最悪の事態を引き起こしておりました。

志木は新河岸川の舟運が中心となり町が形成された歴史があり古くから「母なる川」と呼ばれておりましたが、新興住宅、工場からの雑排水や廃液は魚影を駆逐し住民のモラルの欠如からゴミの不法投棄は後を絶たず、それにより川は悪臭と汚泥によって水質は最悪の状態となってしまいました。一方、行政はこの変化に追いつかず、環境は壊れて悪臭を放す川には、昔住んでいたと伝えられていたカップまで姿を消したと陰ではささやかれていました。

ある日、ゴミは流れを塞ぎ止め、そのゴミの上を猫が対岸に渡る光景を目にした初代三上会長は、これではいけないと誕生間もないロータリークラブの社会奉仕事業(創立 35 名)として、取り組んだのが「川をきれいにしよう運動」です。

この運動は全市民を会員として組織して、会の運動の第 1 回(昭和 47 年 12 月)には、当時の畑和知事・副知事はじめ県職員 11 名の特別参加、市民 440 名の参加により盛大に発足しました。以来、今日までこの運動は名称を「志木市川とまちをきれいにする運動推進協議会」と名を変え会長はクラブ会員が務め、年 2 回の清掃活動として続けております。

第 1 回の開催以来参加者は回を追うごとに参加者を増し、数年後運動は徐々に実を結び川の流れは清流を取り戻し今日の流れとなったものです。

一方、志木には昔から河童の昔話があり、カップを題材として造られたカップの像が至るところに姿を現し今ではその数 36 体(石造 27 体・鑄造：小中学校天水桶・9 体)を数え観光資源となっております。また、カップによる町おこしはこの像だけに限らず、カプル・カップー、等が行政、市民の手で誕生しております。

このほど、志木市の表玄関「志木駅東口前広場」に創立 50 周年記念碑として平成 30 年 5 月より足掛け 5 年を要し 37 体目の河童像として誕生したものです。

この地は、古梅木の朽ち跡で、故有って志木市及び関係者のご理解ご協力の基に設置できました。

「まちあわせ河童」はこれから志木市に訪れる多くの行き交う人達に、微笑みを浮かべながら「志木市の発展を見つめ、人の出入りと安全を守り、待ち合わせ・見送りなどの目印」となる事でしょう、ロータリーアンとして限らない喜びと言えるものです。更に、カップの町、志木のシンボルと成ることを志木 RC 会員は期待しております。

「ご挨拶」

創立50周年記念実行委員会 副委員長 岩下正基

去る 2 月 23 日晴天の中、クラブ創立 50 周年記念事業の一つであるかっぱ石像(まちあわせ河童)に除幕式が香川市長ご臨席のもと開催されました。

志木の玄関口にかっぱの町にふさわしいモニュメントが完成し、市民の方々や訪れる人々に親しんでいただけるものと確信します。

また、この事業はクラブの公共イメージの向上にも繋がるものと感じます。

本来であれば大勢の会員の皆様とお祝いしたいところでしたが、この状況下それも叶わず残念ながら少数での開催という判断に至りました。

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

■新座RC (木) 12:30～ ベルセゾン

■和光RC (月) 12:30～ 郵便事業(株)和光支店3F

■新座こぶしRC (水) 12:30～ ベルセゾン

■富士見RC (金) 12:30～ 島田ビル1F

特別号-3◇
志木 RC 会報

「ご挨拶」

創立50周年記念実行委員会副委員長 星野博之



志木ロータリークラブ創立 50 周年の記念に、この町に長く語り継がれてきた河童伝説を体現するものとして、河童像を設立する事が出来ました。目を引くデザインであるこの可愛らしい像が、志木市の新しい象徴のひとつとして、長く愛されることを願っております。設立場所に志木駅前の良い立地を頂きましたので、ぜひ新しい待ち合わせスポットな

どとして、皆様に親しんでいただければ幸いです。



志木ロータリークラブ 会長/清水和之 副会長/市之瀬正靖 幹事/國分 学

◇特別号-4

会報委員会 委員長/塩野 章 副委員長/上野剛彦 委員/影山和良 宮田泰彦